

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

私は平成2年に総社に引っ越してきました。転入の手続きをするため市役所に行ったとき、『広報そうじゃ』に出会いました。早いものであれから20年が経ち、私の書棚に並ぶ240冊の『広報そうじゃ』を読み返してみました。

20年で表紙の題字が12回変わり、裏表紙の連載も15シリーズありました。予算の額をはじめ、メイン特集の記事内容、輝いている人で紹介された人などを拾い出し、表にまとめてみると、なつかしく思うものばかりでした。

友人や、知人と広報紙の話をしますが最後まで読んでいる人はほとんどいないようです。残念でなりません。多くの経費と労力をかけて発行されていること、毎号いろいろな内容の記事が盛りだくさんに記載されていることを理解し、もっと多くの人に読んでもらいたいです。



『広報そうじゃ』のデータをまとめた山形さんのファイル。写真は、特集の内容を一覧にしたページ

広報紙は行政と市民との太いパイプの役割を果たしていると思います。興味をもって読めば楽しく読むことができます。広報紙は私たちの貴重な財産です。1ページ1ページを大切にしましょう。

(山形鉄夫さん・久代)

総社ブラジリアン「SOJA BRAZIL FC」を結成しました。コミュニティを立ち上げるときから、サッカーチームを



森井ジョイさん(右端)と子どもたち

作りたいと思っていたので、それが実現し、とてもうれしいです。監督はブラジルで高校3年生までサッカーをしていた森井ジョイさんで、本場ブラジルのサッカーを子どもたちに教えてほしいです。

9月11日から練習を開始します。コミュニティで力を合わせてチームを育てていきます。まだまだこれからのチームですが、試合をしてくれたらうれしいです。

(総社ブラジリアン「コミュニティ」会長・タンシユンワイさん)

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましよう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

市の花・木・鳥

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

今月の表紙

農業公社の畑で、学校給食用キュウリの苗を植えるわくわくハンド・ベルの皆さん。

編集後記

■節電を心掛けた夏。わが家はなぜか朝夜が過ごしやすく、寝るときは扇風機だけでクーラーなしで過ごせた。適度な汗がかけて健康にも良い夏だった。

■蹴って、つないで、ゴールを目指して。サッカー交流での中学生の元気な姿を見ていると、こちらも元気が湧いてきた。

■清流まつりの取材でのこと。駐輪場担当の人がライトで自転車の鍵穴を照らしたり、鍵を落とさないようにとの声掛けをしていた。こうした裏方さんのおかげで、夏祭りを楽しめる。感謝、感謝と思い取材に向かった。

チュッピーのジクソーパズルが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズにお答えください。

Q1 市が受け入れた岡山県立大学のインターンシップ生の人数は、○人

【応募方法】 はがきに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人にチュッピーのジクソーパズルを贈ります。

【応募期限】 9月30日(金)

【7月号の答え】 一丁坂古墳群

【7月号の当選者】 中山淳子さん(久代)、田中彰さん(新本)。

[応募者数15人]

■応募先 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所企画課

住宅用火災警報器

守ります あなたの命

今年になって市内で建物火災が相次いでいます。いっなどきも、火の取り扱いは細心の注意を払い、外出や就寝前には、今一度火の元の確認をお願いします。



まだの人、早く設置しよう!

万一のとき、「火事です」などの音声で、火災の早期発見と早期避難を知らせる「住宅用火災警報器」の設置がまだのご家庭は早期の設置をお願いします。

消防法と市火災予防条例で今年6月1日から、設置が完全義務化になりました。家電量販店やホームセンターなどで一つ3000円程度から販売されていますので、寝室と階段の天井へ設置してください。

住宅用火災警報器の説明会もしています。詳しくは、消防本部予防課(☎8343)までお尋ねください。

総社市消防本部の所属で、住宅用火災警報器の設置を呼び掛ける「ジュウケイキマン」

救助

出動件数は38件で、前年同期に比べて10件の増加。救助人員は23人で、前年同期に比べ3人の増加となっています。

事故種別は、交通事故が23件でもっとも多く、次いでその他の事故6件、火災4件、水難事故3件などとなっております。交通事故が全体の約6割を占めています。



問い合わせ 消防署 (☎92-8346)

救急

出動件数は1241件で、前年同期と比べて84件減少し、1日当たり6.9回出動したことになります。

出動件数が減少した要因としては、「救急車の適切な利用」の積極的な広報と、総社新医療体系の浸透が挙げられます。

事故種別では急病がもっとも多く、その6割近くを65歳以上の高齢者が占めています。

今年は東日本大震災に起因する節電対策の影響から、残暑による熱中症には十分注意してください。

平成23年上半期 総社市火災・救急・救助概要 >>>

火災

火災件数は17件で前年同期に比べて1件増加、火災種別は、建物火災10件、林野火災3件、その他火災4件となっています。損害額は概算で、566万円。前年同期に比べて6346万円の大幅に減少しています。

しかし、残念ながら5名(建物火災4名、その他火災1名)の尊い生命が火災により奪われています。

全国的にみても火災による死者の約6割が65歳以上の高齢者となっており、このうち約6割は逃げ遅れによるものです。